



上小小だより

〒330-0855 さいたま市大宮区上小町 1337-1

HP <http://kamiko-e.saitama-city.ed.jp/> TEL : 048-644-6251

教育目標

- ◎ 心豊かな子
- ◎ 進んで学ぶ子
- ◎ 健康な子

休 眠 打 破

校 長 小 林 真 理 子

あっという間に1月が過ぎ、今日から2月。寒さはまだまだ続きそうですが、暦の上では春が近づいています。引き続き、インフルエンザなどの流行には注意を払っていきたいと思います。

さて、春が近づくと、気象情報などで「休眠打破」という言葉を聞くようになります。植物によっても異なるそうですが、サクラは、前の年の夏に花芽をつくって、その後は休眠状態に入るそうです。その花芽は気温の上昇によって休眠打破してさらに生長、その後開花します。ところが、冬の気温が暖かすぎて、開花時期が遅れることがあります。開花のためには、花芽が一定期間低温にさらされる必要があるためだそうです。

眠っていた才能が何かのきっかけでぐんぐん伸びて開花するように、このようなきっかけは、子どもたちの成長にもあるのでしょうか。きっかけは一体どこにあるのだろう、そのようなことを考えながら校内の子どもたちの姿を見ています。

ところで、1月末から始まった「校長先生と一緒に給食を食べ隊」の活動では、6年生がグループごとに校長室を訪れ、小学校生活の思い出とともに、将来の夢などを語ってくれています。柔らかな花芽をもったこの子たちは、10年後、20年後、どのように成長しているのでしょうか。何かがいききっかけとなり、もてる力をぐんぐんと伸ばしていく日が楽しみです。もしかしたら、すでにスタートを切っている子がいるのかもしれませんが。そして今、低温にさらされていると感じていることも、花の咲く前に必要な試練の時なのかもしれません。



一人ひとり違う花の芽をもった487名の子どもたちに、今月も保護者・地域の皆様の変わらぬご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

【瞳輝くカミコン】「靴箱の掃除」の一コマから
靴を出して、小ぼうきで掃いて、濡れ雑巾で拭いて。靴を戻して、かかとを揃え、これで完了。責任感あふれる仕事ぶりです。